学校番号	305

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅡ	4	2	LANDMARK Fit English CommunicationⅡ サブノート・WORKBOOK

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションⅡの授業は、「聞くこと」、「話すこと（やり取り、発表）」、「読むこと」、「書くこと」という４技能５領域の力をつける授業です。聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。
・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習しましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・リズムなどの音声上の特徴を理解している。 ・日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、詳細、話の展開や話し手の意図を聞き取ることができる。	・文と文とのつながりや文章全体の展開などを理解している。 ・日常的・社会的な話題の英文を読む際に、文と文のつながりや文章全体の展開などの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、詳細、文章の展開や書き手の意図を読み取ることができる。	・リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解している。 ・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどをはあなして伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、多様な語句や文で詳しく話して伝え合うことができる。	・発表の時に必要な表現などを理解している。 ・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝える際に、発表のときに必要な表現などの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、多様な語句や文で詳しく話して伝えることができる。	・句読法や文章全体の展開などを理解している。 ・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、句読法や文章全体の展開などの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、多様な語句や文を用いて、複数の段落から成る文章で伝えることができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	ミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	Lesson1 A Swedish Girl’s Discoveries in Japan	聞くこと	a:本文のトピックに関する短い対話を聞き、イラストや写真を参考にしながら、内容についての質問に答えることができる。 b: 本文を聞き、述べられている内容を推測し、伝えることができる。 c: 本文を聞き、各パートの質問文やイラスト・写真などを参考にして、述べられている内容を理解しようとしている。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		読むこと	a: 語彙の意味や，文法事項の理解を基に，スウェーデンと日本の違いについて書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: スウェーデンと日本の違いについての概要や要点をまとめることができる。 c: スウェーデンと日本の違いについて書かれた文章の内容について、概要や要点を把握しようとしている。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		話すこと（やり取り）	a: スウェーデンと日本の違いについて，学習した語句や文法事項を用いて，調べたことを発表したり、感想を伝え合うことができる。 b: スウェーデンと日本の違いについて、意見を交換し合うことができる。 c: 相手に伝わりやすくするために、声の大きさ、速さ、ジェスチャーなどを工夫している。相手の言いたいことを理解しようとする態度が見られる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		書くこと	a: 本文で扱った文法事項を理解し，それを用いて正しい文章が書ける。 b: 自分の意見や感想を伝えるために，文法事項を正しく用いて，短い英文が書ける。 c: 不定詞，動名詞の用法について理解し、正しい英文を書こうとする態度が見られる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
	中間考査			
	Lesson2 A Message from Emperor Penguins Lesson3 Tokyo’s Seven-minute Miracle	聞くこと	a:本文のトピックに関する短い対話を聞き、イラストや写真を参考にしながら、内容についての質問に答えることができる。 b: 本文を聞き、述べられている内容を推測し、伝えることができる。 c: 本文を聞き、各パートの質問文やイラスト・写真などを参考にして、述べられている内容を理解しようとしている。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		読むこと	a: 語彙の意味や，文法事項の理解を基に，コウテイペンギンの行動や、新幹線内を７分で清掃するスタッフなどについて書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: コウテイペンギンの行動や、新幹線内を７分で清掃するスタッフなどについて書かれた文章を読み、内容についてまとめることができる。 c: コウテイペンギンの行動や、新幹線内を７分で清掃するスタッフなどについて書かれた文章の内容について、概要や要点を把握しようとしている。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		話すこと（発表）	a: コウテイペンギンの行動や、新幹線内を７分で清掃するスタッフなどについて，学習した語句や文法事項を用いて，調べたことを発表したり、感想を伝え合うことができる。 b: コウテイペンギンの行動や、新幹線内を７分で清掃するスタッフについて特に興味を持った点、驚いた点などについて伝え合うことができる。 c: 相手に伝わりやすくするために、声の大きさ、速さ、ジェスチャーなどを工夫している。相手の言いたいことを理解しようとする態度が見られる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査

		書くこと	a: 本文で扱った文法事項を理解し，それを用いて正しい文章が書ける。 b: 自分の意見や感想を伝えるために，文法事項を正しく用いて，短い英文が書ける。 c: 間接疑問文, 形式目的語などの用法について理解し、正しい英文を書こうとする態度が見られる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
	期末考査			
2 学期	Lesson4 Seeds for the Future Lesson5 Gaudi and His Messenger	聞くこと	a:本文のトピックに関する短い対話を聞き、イラストや写真を参考にしながら、内容についての質問に答えることができる。 b: 本文を聞き、述べられている内容を推測し、伝えることができる。 c: 本文を聞き、各パートの質問文やイラスト・写真などを参考にして、述べられている内容を理解しようとしている。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		読むこと	a: 語彙の意味や, 文法事項の理解を基に, 小林宙さんの活動やガウディの作品などについて書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 小林宙さんの活動やガウディの作品などについて書かれた文章を読み、その内容についてまとめることができる。 c: 小林宙さんの活動やガウディの作品などについて書かれた文章の内容について、概要や要点を把握しようとしている。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		話すこと（やり取り）	a: 小林宙さんの活動やガウディの作品などについて，学習した語句や文法事項を用いて，内容についての感想を伝え合うことができる。 b: 小林宙さんの活動やガウディの作品などについて、意見を交換し合ったり、特に興味を持った点、驚いた点などについて伝え合うことができる。 c: 相手に伝わりやすくするために、声の大きさ、速さ、ジェスチャーなどを工夫している。相手の言いたいことを理解しようとする態度が見られる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		書くこと	a: 本文で扱った文法事項を理解し，それを用いて正しい文章が書ける。 b: 自分の意見や感想を伝えるために，文法事項を正しく用いて，短い英文が書ける。 c: 複合関係代名詞, 分詞構文などの用法について理解し、正しい英文を書こうとする態度が見られる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
	中間考査			
	Lesson6 Edo: A Sustainable Society Lesson7 Biodiesel Adventure: From Global to Glocal	聞くこと	a:本文のトピックに関する短い対話を聞き、イラストや写真を参考にしながら、内容についての質問に答えることができる。 b: 本文を聞き、述べられている内容を推測し、伝えることができる。 c: 本文を聞き、各パートの質問文やイラスト・写真などを参考にして、述べられている内容を理解しようとしている。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		読むこと	a: 語彙の意味や, 文法事項の理解を基に, などについて書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。江戸時代のリサイクルの様子や山田周生さんの活動について詳しく読み取ることができる。 b: 江戸時代のリサイクルの様子や山田周生さんの活動について概要や要点をまとめることができる。 c: 江戸時代のリサイクルの様子や山田周生さんの活動について書かれた文章の内容について、概要や要点を把握しようとしている。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		話すこと（発表）	a: 江戸時代のリサイクルの様子や山田周生さんの活動について，学習した語句や文法事項を用いて，それぞれについて発表したり、感想を伝え合うことができる。 b: 江戸時代のリサイクルの様子や山田周生さんの活動について、意見を交換し合ったり、特に興味を持った点、驚いた点などについて伝え合うことができる。 c: 相手に伝わりやすくするために、声の大きさ、速さ、ジェスチャーなどを工夫している。相手の言いたいことを理解しようとする態度が見られる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		書くこと	a: 本文で扱った文法事項を理解し，それを用いて正しい文章が書ける。 b: 自分の意見や感想を伝えるために，文法事項を正しく用いて，短い英文が書ける。 c: 使役動詞, 複合関係副詞などの用法について理解し、正しい英文を書こうとする態度が見られる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
	期末考査			

学年末	Lesson8 Our Future with AI	聞くこと	a:本文のトピックに関する短い対話を聞き、イラストや写真を参考にしながら、内容についての質問に答えることができる。 b: 本文を聞き、述べられている内容を推測し、伝えることができる。 c: 本文を聞き、各パートの質問文やイラスト・写真などを参考にして、述べられている内容を理解しようとしている。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		読むこと	a: 語彙の意味や，文法事項の理解を基に，AI の進化によってこれから我々の生活がどのように変わるかについて書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: AI の進化によってこれから我々の生活がどのように変わるかについて書かれた文章を読み、内容についてまとめることができる。 c: AI の進化によってこれから我々の生活がどのように変わるかについて書かれた文章の内容について、概要や要点を把握しようとしている。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		話すこと （発表）	a: AI の進化によってこれから我々の生活がどのように変わるかについて，学習した語句や文法事項を用いて，発表したり、感想を伝え合うことができる。 b: AI の進化によってこれから我々の生活がどのように変わるかについて、意見を交換し合ったり、特に興味を持った点、驚いた点などについて伝え合うことができる。 c: 相手に伝わりやすくするために、声の大きさ、速さ、ジェスチャーなどを工夫している。相手の言いたいことを理解しようとする態度が見られる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		書くこと	a: 本文で扱った文法事項を理解し，それを用いて正しい文章が書ける。 b: 自分の意見や感想を伝えるために，文法事項を正しく用いて，短い英文が書ける。 c: 仮定法などの用法について理解し、正しい英文を書こうとする態度が見られる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度